

## 中国出張レポート： 上海で見た「新しい中国」の姿③



### 電気量販店での中国家電の充実、高級化

地下鉄を乗り継ぎ、電気街に足を向けてみた。中国人は秋葉原で電化製品を爆買いと思い込んでいたが、商品の充実ぶりに驚いた。特に空気清浄器やエアコンなどが充実。日本での爆買いがピークアウトしているのも頷けた。

#### 大手家電ショップ



#### 中国製高級エアコン、グレー

売り場では、グリー、ミディアなど中国メーカーの家電が日本製を圧倒。25万円くらいの縦型の巨大エアコンなど高額商品がずらり並び、中国の消費は確実に高級路線に向っている。



中国家電、ミィデア

### 繁華街、南京東路で見た消費

上海を代表する観光ストリートと言えば南京東路だ。一見、依然と変わらず地方からの観光客にあふれ、消費も伸びているように見えた。しかし、この街を盛り上げてきた老舗百貨店が時代の逆風を受けているというのだ。ネットショッピングや大型ショッピングモールの乱立に押され、どの百貨店も巻き返しのリニューアルに踏み切っていた。消費動向の変化に合わせ、今風のテナントに入れ替えるそうだ。



上海南京東路

## 貴州茅台酒（マオタイ）が大人気

老舗百貨店では、相変わらず漢方や医薬品が幅を利かせている。その中で充実が目立つのは、高級酒の売場だ。

### 老舗百貨店の売場



習近平指導部の反腐敗運動のあおりで高級白酒の一つ茅台酒（マオタイ）の役人消費は減ったが、一般消費は良好のようだ。今後も消費者の可処分所得が伸び、高級白酒の人気を支えると見られる。特に2～3万円のマオタイが人気らしい。

これには企業努力もあるようだ。マオタイの代表的な製造元「貴州茅台集団」が、過去には公的機関への大口販売が売り上げの40%を占めていたと聞く。それが本格的に一般消費者への販売に力を入れはじめたのだ。低価格戦略だけでなく、顧客を茅台酒の工場とその故郷を巡るツアーを企画したり、工夫を凝らして市場拡大に努めている。健康促進プランもあるとか。

一方、富裕層の間では、年代物のマオタイの所有はステータスシンボルだと聞いた。写真のマオタイの中には、一本20万円を超える古酒もある。50度を超えるアルコール度数にも値段にもびっくりだ。そもそもマオタイは、長い間、国賓を迎える際などには欠かせない「国酒」だった。その「国酒」が新しい中国の流れの中で、庶民が自腹で飲む、大衆化した酒に変化し、製造企業はビジネス戦略を巧みに変更し、業績を急拡大させている。

### 中国の高級白酒



次回は UBS 主催の「グレーター・チャイナ・コンファレンス 2018」の様子をお知らせする予定です。

商号： UBS アセット・マネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第412号

加入協会： 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

本資料は、情報提供を目的としたものであり、特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。本資料は、信頼できる情報をもとに UBS アセット・マネジメント株式会社によって作成されておりますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。本資料に記載されている内容・数値・図表・意見・予測等は、本資料作成時点のものであり、将来の市場動向、運用成績等を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。

© UBS 2018. キーンボル及び UBS の各標章は、UBS の登録又は未登録商標です。UBS は全ての権利を留保します。